

平成29年1月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

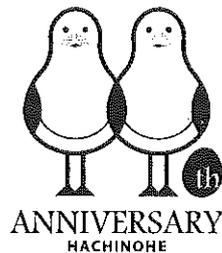
「八戸レポート 平成29年1月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださるようお願いいたします。

今月1日、中核市・八戸が誕生しました。全国で48番目、青森県内では青森市に次いで2番目となります。

同時に、近隣7町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、おいらせ町、新郷村）と形成を目指す「連携中枢都市圏」の中心市を宣言しました。

今後は、圏域の経済のけん引、都市機能集積の役割を担っていくにふさわしい都市として、取り組んでいきます。

◆◆◆◆◆市制施行88周年記念ロゴマークが決定しました！◆◆◆◆◆



八戸市  
市制施行  
88周年

三陸復興国立公園に指定されている燕嶋に繁殖する、ウミネコをモチーフにしています。八戸の象徴的な鳥であるウミネコ二羽が寄り添い、未来を真っ直ぐに見つめ、大空へ羽ばたこうとしている翼に、これからも飛躍し続ける八戸市の希望を乗せて。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 1月号 レポート

平成28年12月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	「八戸ブックセンター」オープン 本のまち 拠点施設へ
(2)	「はっち」地域創造大賞受賞！ 魅力発掘した展示など評価
(3)	八戸市制施行88周年 記念ロゴマーク決定
(4)	八戸市景観賞 4件決定！
(5)	中核市移行で県から事務引き継ぎ

## 【経済】

記事	概要
(6)	「朝の八甲田」ベトナムへ輸出
(7)	八戸港の新規定期航路開設促進 船会社向け補助金創設

## 【地域】

記事	概要
(8)	八戸ワイン 生産法人に「レストランテ澤内」と「北東北ワイナリー（仮称）」認定
(9)	マリエントでイワシの展示スタート
(10)	八戸の2ホテルが耐震診断で「危険性が高い」と診断
(11)	八工大に「地域づくり学科」新設へ 中心街空洞化など解決へ研究
(12)	八戸市民病院ドクターカー「V3」 出勤現場で初手術
(13)	元日本一の巨木「オニグルミ」 台風10号に力尽く
(14)	八戸ワイン試験醸造の試飲会 反応上々

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(15)	八戸三社大祭など「山・鉾・屋台行事」33件 無形文化遺産登録決定
(16)	ヴァンラーレ八戸 新監督に柱谷哲二氏就任へ
(17)	伊調選手の国民栄誉賞をたたえ八戸市で祝賀会開催
(18)	キーボード奏者の喜多郎さん 八戸でのコンサート開催へ意欲
(19)	五輪銅の岡崎さんを講師に スケート教室開催
(20)	バトントワーリング全国大会 向陵高バトン部が念願の“金”受賞！
(21)	八戸港 2016年コンテナ取扱量 過去2番目の多さ

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>「八戸ブックセンター」オープン 本のまち 拠点施設へ</b></p> <p>「八戸ブックセンター」が12月4日、六日町の複合ビル「ガーデンテラス」1階にオープンした。行政が運営する書店で、民間と競合しないよう雑誌やコミックなどの売れ筋は置かず、自然や芸術に関する入門・基本図書など「知的好奇心を刺激するような良書」や、地元の書店では手にする機会が少ない本を選び販売する。読書会ルーム、作家に関する展示を行うギャラリー、執筆活動で利用できる「カンヅメブース」などを備え、アルコールを含めた飲料も販売する。開館時間は午前11時～午後8時、休館日は、毎週火曜日と年末年始の12月29日から1月1日。</p>
(2)	<p><b>「はっち」地域創造大賞受賞！ 魅力発掘した展示など評価</b></p> <p>「八戸ポータルミュージアムはっち」が、一般財団法人「地域創造」（東京）が選ぶ「2016年度地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞した。地域資源の魅力を掘り起こした展示や企画、中心市街地に位置し、中心街の活性化に向けて取り組んでいる点などが評価された。同大賞は、2004年度から始まり、2015年度までに国際芸術センター青森（青森市）、十和田市現代美術館（十和田市）の県内2施設を含む95施設が受賞している。本年度は全国41施設が応募し、はっちを含む8施設が選ばれた。</p>
(3)	<p><b>八戸市制施行88周年 記念ロゴマーク決定</b></p> <p>八戸市は2017年5月1日に迎える市制施行88周年を記念するロゴマークを決定した。採用されたロゴマークは、蕪島のウミネコをモチーフにし、市が飛躍し続けることへの希望を表現した作品。10～11月に行った市民投票で、投票数1万665票のうち半分に当たる5150票を獲得した。市は記念事業のPRなどに活用する。</p>
(4)	<p><b>八戸市景観賞 4件決定！</b></p> <p>本年度の八戸市景観賞に4件が決まった。景観づくり部門は「植物屋ARAYA」の1件、まちなみ空間部門は「八戸学院短大幼児保育棟と美保野キャンパスのケヤキ並木」「市立南郷図書館」「蕪島前広場と蕪島海浜公園」の3件が選ばれた。同賞は優れた景観や保全の取り組みを表彰し、魅力あるまちづくりにつなげる狙いで市が1987年度から実施し、前年度までに計71件が選定されている。</p>
(5)	<p><b>中核市移行で県から事務引き継ぎ</b></p> <p>八戸市の平成29年1月1日の中核市移行に向けた事務引き継ぎ式が12月27日、青森県庁で行われた。三村申吾知事と小林眞八戸市長が引き継ぎ書に署名し、青森県から市への事務引き継ぎが完了した。県から移譲される事務権限は、飲食店業務の許可など保健所に関する事務や身体障害者手帳の交付など計2028項目に上る。</p>

## 【経済】

記事	概要
(6)	<p><b>「朝の八甲田」ベトナムへ輸出</b></p> <p>八戸市の洋菓子店・アルパジョンは、主力商品のチーズケーキ「朝の八甲田」をベトナムへ輸出した。取引のきっかけは八戸市などが1月にホーチミン市で開いた「ジャパン青森フードフェア」。試食した関係者が製品を気に入り、八戸にも足を運んでアルパジョンとの商談を重ねてきた。アルパジョンにとっては、中国や米国、オーストラリアに続く海外輸出で、経済成長を遂げる新興市場を、販路の一つに加える考えである。</p>

(7)	<p><b>八戸港の新規定期航路開設促進 船会社向け補助金創設</b></p> <p>八戸港国際物流拠点化推進協議会は、八戸港で新たなコンテナ定期航路を開設する船会社向けの補助金制度を創設した。制度の対象となるのはアジア（東南アジア、香港、台湾）、北米、国際フェーダー（川崎港に寄港）の各航路。入港料や港湾施設使用料、燃料費が対象経費となる。新規航路の開設を促進し、利便性向上による港の利用拡大につなげたい考えである。</p>
-----	---

【地域】

記事	概要
(8)	<p><b>八戸ワイン 生産法人に「リストラテ澤内」と「北東北ワイナリー（仮称）」認定</b></p> <p>八戸市は、南郷地区で栽培されているブドウを原料にワイン生産に取り組む法人として、市内の「リストラテ澤内」と「北東北ワイナリー（仮称）」を認定した。リストラテはイタリア料理店。北東北はワイン生産のため新設する法人。両社とも初年度はワインボトル3千本（2キロリットル）を醸造する見込み。北東北は将来的に10万本の生産を目標としている。リストラテは市街、北東北は産地にワイナリーを整備し、来年秋からの醸造を目指す。</p>
(9)	<p><b>マリエントでイワシの展示スタート</b></p> <p>八戸市水産科学館マリエントで、イワシの展示が始まった。八戸港内にいけすを設置し飼育している今野産興が「マリエントや市民へのクリスマスプレゼント」として、同館に寄贈した。体長10センチ前後のマイワシやカタクチイワシ約200キロで、3千匹以上。大水槽のほか、円柱型水槽、角型水槽に分けて展示している。大水槽では、群れをつくって泳ぐ姿が見られ、時計回りに流れのある円柱型水槽は、流れに逆らって泳ぐイワシを間近に観察できる。照明を浴びてキラキラと輝く魚体が来館者を楽しませている。</p>
(10)	<p><b>八戸の2ホテルが耐震診断で「危険性が高い」と診断</b></p> <p>青森県と八戸、青森、弘前の県内3市は、関係法令に基づき、県内で耐震性の緊急確認が必要となった大規模建築物に関する診断結果を公表した。大規模地震によって倒壊や崩壊する危険性が高いと診断されたのは、青森県南で八戸ワシントンホテル、八戸パークホテル、公立野辺地病院本館棟の3件。ワシントンホテルは来年4月に移転する計画で、パークホテルは来年2月から補強工事を実施する方針。野辺地病院も改築か新築かについて協議を進めている。</p>
(11)	<p><b>八工大に「地域づくり学科」新設へ 中心街空洞化など解決へ研究</b></p> <p>八戸工業大は、感性デザイン学部「地域づくり学科（仮称）」を新設する構想を発表した。構想によると新学科は、地域資源を生かす方法など社会の仕組み作りの分野に特化する。中心街の空洞化や人口減少、高齢化など、地方が抱える課題の解決や活性化の研究に取り組むことで、地元で活躍する人材の育成を狙う。既存学科は創生デザイン学科に改称し、モノや形の美術的なデザイン分野を引き継ぐ。定員はこれまでの1学科60人から、2学科計80人に増やす予定。</p>
(12)	<p><b>八戸市民病院ドクターカー「V3」 出動現場で初手術</b></p> <p>八戸市立市民病院のドクターカー「V3」が12月19日、7月の本格運行開始後、初めて手術を行った。八戸消防本部によると19日午前11時半ごろ、河原木で水難事故があったとの通報があり、救急隊員らが出動。同病院にドクターカー出動を要請した。V3は正午ごろ現場に到着、午後12時10分ごろ手術を開始し、女性に人口心肺補助装置を装着した。その後、女性を乗せた救急車が同病院に午後1時ごろ到着したという。7月に運用開始してから初のケース。</p>

(13)	<p><b>元日本一の巨木「オニグルミ」 台風10号に力尽く</b></p> <p>かつて“日本一”に認定され、八戸市の保存樹木でもある是川土橋のオニグルミが、8月の台風10号で倒れていたことが分かった。幹回り410センチで、環境省などが取りまとめる「全国巨樹・巨木林データベース」で、2008年に国内最大のオニグルミに登録された。その後、南部町法光寺日渡で幹回り476センチのオニグルミが発見されて日本一の座を譲ったが、歴史ある巨木として地域で愛されてきた。回復の見込みが薄く、関係者からは「自然の影響なので仕方ないが、大変残念」と惜しむ声が上がった。</p>
(14)	<p><b>八戸ワイン試験醸造の試飲会 反応上々</b></p> <p>南郷地区で栽培されたワイン用ブドウを使って試験醸造した「八戸ワイン」の試飲会が27日に開かれた。ブドウの作付けから2年経て完成した待望の“初物”。関係者は「想像以上にしっかりした味」「熟成すればさらにおいしくなる」などと評価し、反応は上々だった。ブドウの生産量が増える平成29年からは、八戸市内に整備される2カ所のワイナリーで醸造が始まり、早ければ12月にも一般向けにワインが販売される。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(15)	<p><b>八戸三社大祭など「山・鉾・屋台行事」33件 無形文化遺産登録決定</b></p> <p>国連教育科学文化機関（ユネスコ）の政府間委員会は日本時間12月1日未明、エチオピアのアディスアベバで開いた会合で、八戸市の「八戸三社大祭の山車行事」など18府県33件の祭りで構成する「山・鉾・屋台行事」を無形文化遺産に登録することを正式に決めた。八戸市は12月1日午前、市庁本館ロビーで登録決定を祝うセレモニーを開催。祭り関係者や一般市民ら約100人が詰めかける中、小林眞市長は「八戸三社大祭が世界人類の遺産となった記念すべき日だ。市民とともに喜びたい」と延べた。</p>
(16)	<p><b>ヴァンラーレ八戸 新監督に柱谷哲二氏就任へ</b></p> <p>日本フットボールリーグのヴァンラーレ八戸の監督に、元日本代表で、当時J1のコンサドーレ札幌や東京ヴェルディで監督を務めた柱谷哲二氏(52)が就任することが分かった。京都府出身で選手時代は日産自動車サッカー部、Jリーグ発足後はヴェルディ川崎でDFや守備的MFとして活躍した。1988～95年まで日本代表に選出され、94年ワールドカップ（W杯）アジア最終予選にも出場した。主将として最終戦のイラク戦に臨み、引き分けで惜しくもW杯初出場を逃す「ドーハの悲劇」を経験した。選手としての実績があり、J1で指揮を執った経験のあるビッグネームを迎え、チームは悲願のJ3昇格を目指す。</p>
(17)	<p><b>伊調選手の国民栄誉賞をたたえ八戸市で祝賀会開催</b></p> <p>五輪女子レスリングで4連覇を果たし、青森県人初の国民栄誉賞を受けた伊調馨選手の受賞祝賀会が12月8日、八戸市と八戸商工会議所の主催で八戸プラザホテルアーバンホールで開かれた。一般市民の参加も広く募った祝賀会とあって、会場には伊調選手の同級生を含め、関係者や市民ら約500人が参加した。伊調選手は「賞をいただいたことでこれまで以上にプレッシャーがかかるが、賞に恥じないよう立派に生きていく」と決意を述べた。</p>

(18)	<p><b>キーボード奏者の喜多郎さん 八戸でのコンサート開催へ意欲</b></p> <p>世界的なキーボード奏者で、グラミー賞受賞者の喜多郎さん(63)が、八戸市でのコンサート開催に向けて動きだしている。八戸は、喜多郎さんが20代の頃に1カ月ほど滞在した思い出の場所。今年10月、南部町出身のシンガー・ソングライター坂本サトルさんの案内で約40年ぶりに市内を巡ったのをきっかけに、「恩返しのお気持ちを込めてコンサートを開きたい」との思いを強くした。2人だけでなく、地域の若手芸術家や郷土芸能団体も巻き込んだ市民参加型のイベントにしたい考えだ。</p>
(19)	<p><b>五輪銅の岡崎さんを講師に スケート教室開催</b></p> <p>1998年の長野五輪スピードスケート女子500メートルで銅メダルを獲得した岡崎朋美さんを特別講師に招いたスケート教室が12月18日、長根公園スケートリンクで開かれた。市が競技人口の増加などを目的に昨年度から行っている「氷都八戸パワーアッププロジェクト事業」の一環で、岡崎さんは昨年度に引き続き参加した。市内の小学生約200人がスケートの楽しさに触れながら、メダリストから上達のコツを学んだ。</p>
(20)	<p><b>バトントワーリング全国大会 向陵高バトン部が念願の“金”受賞！</b></p> <p>千葉県で12月10、11日に開かれた第44回バトントワーリング全国大会で、八戸市の向陵高バトン部が創部11年目にして初めて最高賞の金賞に輝いた。同部は昨年まで8年連続銀賞と涙をのんでおり、メンバーは「先輩たちも必死に金賞を目指して努力してきた。念願の金賞受賞にただただ感動している。恩返しの一つになったらうれしい」と語った。また、このほか三八地区の8チームが輝かしい成績を収めた。</p>
(21)	<p><b>八戸港 2016年コンテナ取扱量 過去2番目の多さ</b></p> <p>八戸港の2016年のコンテナ取扱量が、5万本を超える見通しであることが分かった。過去最高だった2015年の5万8065本には届かないとみられるが、前年に引き続き5万本の大台を突破するのは確実な状況で、過去2番目の多さとなる見込み。品目で見ると、輸出はフェロニッケルや事務機器が減少した半面、紙や真空装置、冷凍の水産品が増加。輸入は近年の伸びをけん引した再生可能エネルギー関連資材の取り扱いが落ち着き、全体的に前年を下回ったが高い水準を維持した。北東北の重要な輸送拠点として活用され、輸出入が堅調に推移している。</p>

## ふるさと寄附金のご案内

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除がつけられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。

10,000円以上30,000円未満・・・特産品A1品  
30,000円以上50,000円未満・・・特産品B1品 または 特産品A2品  
50,000円以上100,000円未満・・・特産品C1品 または 特産品A・B各1品  
100,000円以上…………… 特産品D1品 または 特産品C2品 または 特産品A・B・C各1品  
詳しくは <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/02203> をご覧ください。

### お申込み方法

ホームページ

⇒ 八戸市ホームページ (<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>) から、「ふるさと寄附金申込フォーム」に必要事項を入力して送信してください。

郵送

⇒ 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市住民税課へ郵送してください。「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市住民税課までご連絡ください。ホームページからもダウンロードできます。

< 宛先 > 〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市 住民税課 ふるさと寄附金担当  
TEL : 0178-43-9232 (直通)  
Email : [jumin@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:jumin@city.hachinohe.aomori.jp)

### 寄附者のご紹介

平成28年11月に寄附された方々のお名前を次ページにご紹介いたします。  
ご協力ありがとうございました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。

八戸市東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階  
TEL : 03-3261-8973  
FAX : 03-3239-6723  
Email : [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)  
所長 鈴木伸尚 主幹 古町有加 嘱託 籠利京子